

審 議 経 過

No. 1

<p>1. 開会 進行：井上副課長</p> <p>2. 辞令交付 福祉課長から各委員（代表して原田委員へ交付） 福祉課長あいさつ 委員紹介 会長副会長選任 会長 原田委員 副会長 長野委員</p> <p>3. 議題 (1) 伊万里市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について 事務局説明 質疑なし (2) 利用定員の設定について 事務局説明 質疑なし</p> <p>4. その他 (1) 公立保育園検討委員会の進捗状況について 事務局説明 質疑なし (2) 留守家庭児童クラブについて 事務局説明 (川久保委員) プロポーザル方式は何社申し込みがあったのか。 (事務局) 2社の事業者の募集があり、選定した結果が資料にある事業者となっている。 (朝長委員) 平成27年4月にスタートした子ども子育て新制度の中で対象が小学3年生から小学6年生に引き上げられた背景は何か。 (事務局) 働く方の環境を整備して、女性の社会進出も合わせてのものだが、より働きやすい環境を整備するという目的により、受入対象を拡大し、社会の働きやすい環境を応援していくというのが目的の一つだと思う。 (清水委員) 23のクラブで定員990名になるということだが、これで間に合うのか。 (事務局)</p>
--

中心部では児童数は減少ではなく横ばい傾向、一方で利用率は増加傾向にあるため、定員を増やしたものの今後は待機児童というのも出てくる可能性がある。その状況を見ながら施設整備がさらに必要になってくることもあるかと思う。

(清水委員)

立花児童クラブが慢性的な不足状況にあるので、これをどうにかしてもらわないといけないということで何年か前に教育委員会にも行ってお願いしたことがある。「できますよ」という回答を得ながらなかなかできず、やっと4月から受け入れ態勢ができるということで安心はしている。

(事務局)

先ほど取り上げられた立花小学校に関しては、平成30年4月から定員も45名増える。新年度の受付を締め切ったところであり、希望者についてはほぼ受け入れることができたが、ただ、どうしても年度入ってから急に親の仕事が決まったりとかで途中で希望というのも出てくるので、今後そうした方をすべて受け入れるための施設整備というのは見通しを立てていく必要がある。

(清水委員)

今、シダックス大新東ヒューマンサービス(株)というところに決定したということだが、今まで支援員として働いていた方は継続してそこで働くという形になるのか。

(事務局)

現在は市職員として雇用しているが、4月から本人の希望により転籍ということでこのシダックスの職員となる。

(川久保委員)

児童クラブはあるが、児童館が中央部にない。児童館があれば待機児童というのもなくなるのではとずっと前から思っているが、児童館の建設については考えていないか。

(事務局)

今まで中央部での児童館建設については検討したことがない。基本的にはこの児童クラブで対応してもらっている。今後ニーズが出てくるということであれば検討することになるが、現時点ではそういった計画はない。

(3) 次期計画策定について

事務局説明

質疑なし

5. 閉会